

教職パスポート

教職課程の学習記録

(川越キャンパス用)

学部								ふりがな	
学科									
学籍番号								氏名	

(年度 入学・編入)



目 次（川越キャンパス用）

（はじめに） 教師をめざすみなさんへ	1
『教職パスポート』について	2
1. 介護等体験説明会ノート	3
2. 教育実習事務手続説明会ノート	4
3. 教育実習直前説明会ノート	5
自己評価シート	
（中学・高等学校用）	6
【教育の基礎的理解に関する科目等】の履修状況	
（中学・高等学校用）	7～8
【教科及び教科の指導法に関する科目】の省察記録	
（数学）	9
（理科）	10～11
（情報）	12
（工業）	13
（教育職員免許法施行規則第66条の6）	14
中間点検 これまでの教職課程の学びを振り返って	15～16
介護等体験の記録	17
教育実習の記録	18
「教職実践演習」を履修するにあたって	19

(はじめに) 教師をめざすみなさんへ

東洋大学 教職センター

みなさんがいま手にしている「教職パスポート」は、東洋大学で教員免許状の取得をめざす全学生が必ず手もとに置き、学修の記録などを記載するために作られたものです。みなさんは、入学から卒業までの4年間、この「教職パスポート」を大切にし、常に自らの教職への道を確認かなものにするために役立てて下さい。

教員をめざそうとするみなさんは教師への道がとても険しいことを知っていると思います。しかし、教師への道は、いまみなさんが感じているよりももっと厳しいものです。まずはこのことを肝に銘じて、教師をめざす覚悟をあらためて固めて下さい。

ところで、みなさんは「ある人が教師になる」のはいつだと考えるのでしょうか。教員採用試験に合格して辞令をもらい、ある学校に配属されたときでしょうか。たしかに子どもたちは「先生」と呼んでくれますし、法令上も教員の身分を与えられます。しかし、それだけで本当に教師になったと言えるのでしょうか。

教師の仕事に決まったゴールはありません。常に新しい課題に直面し、仲間の教師たちとともに乗り越え、子どもたちに少しでもよりよい教育をする。このことに終点はありません。

従って、教師は、職場にあっても常に勉強しつづけなければならないのです。大学で学ぶことはその準備だとも言えます。

何より教師は成長・発達しようとする子どもたちのそばで、その成長・発達を見守り、促し、手助けをする存在です。みなさんも多くの教師と出会い、よい意味でも悪い意味でも、さまざまな影響を受けてきたことだろうと思います。

教師というのは子どもの一生を大きく変えてしまうかもしれない重要な存在です。だからこそ教師はそれにふさわしい人間になるための努力を不断につづけていかなければならないのです。

教師とは、常に教師に「成り行く」存在なのではないでしょうか。教師として完成することはありません。しかし常にそれをめざしつづけなければならない。このことはとても大変なことだと思います。

それでも、それ以上に、教師は素晴らしいやりがいのある仕事です。これからの4年間、教師になるための準備を着実に、厳しく見つめ返しながら、そして楽しみながら進めていって下さい。

『教職パスポート』について

4年次後期に必修科目として「教職実践演習」が設置されています。この科目では、4年間の教職課程での学びを総括し、自己の適性や動機を再確認するとともに、教職資質についての診断と補完を行うことになります。

ここには無論、介護等体験や教育実習といった学外での経験・学びも含まれます。さらには、教職の資質は大学の授業だけではなく、日常の中での人と人とのコミュニケーションや社会観察、子どもとの交流体験といった様々な要因によっても形成されるものです。つまり、学生諸君は、より教職課程の学びに意識的になる必要があるということです。このことは、教職を目指す動機や意欲のみならず、絶えず自己の適性を厳しく問い続けていくことが今後の教員免許取得には求められるということを意味しています。特に、本科目が4年次後期に置かれるということの意味合いを十分に理解した上で教職課程の履修を判断してほしいと考えます。

また、教職課程を履修する諸君は、こうした4年間の継続的、系統的な学びの流れを目に見える形にした『教職パスポート』を大切に保管・活用することになります。1年次後期に配布する、この『教職パスポート』は、諸君の4年間にわたる教職課程の学びを記録し、上に述べた課題を遂行するために活用するためのものです。紛失や破損のないように、4年間自己管理を徹底してください。今後、教職関連の各種行事や授業等で記録・活用することになります。

この自己管理と活用が「教職実践演習」履修の条件の一つになるので大切に保管してください。

以下、具体的に記入上の注意事項を記します。

1. 修得科目の記録については、当該科目の単位修得後に記入すること。
2. 記述式の項目については、各々その記入時期、記入にあたっての注意事項が指示されているので、それに従って記述すること。
3. 教職資質に関する自己評価については各年度の終わりに、1年間の授業やさまざまな活動を振り返って記入すること。
4. この『教職パスポート』は、教職課程における4年間の学習を各自が記録し、教員になるための資質能力を身につけ、高めていくために活用する。保管は各自が行い、教職関連行事には必ず持参し、記録すること。また、教員が指導に用いるため提出を求めた場合は指示に従い提出すること。

1. 介護等体験説明会ノート

(第1回説明会) 日時 年 月 日() 時 分～ 場所

◎介護等体験への心構え (介護等体験の必要性、実習生として注意すべき点)

(第2回説明会) 日時 年 月 日() 時 分～ 場所

◎介護等体験の意義 (自分で考えたことを記入)

(第3回説明会) 日時 年 月 日() 時 分～ 場所

◎介護等体験までの準備と計画 (自分で考えたことを記入)

◎今後の事務手続・注意事項

川越教学課への提出物・手続 (提出したらチェック)

- | | | | |
|--|-----|---|---|
| ☐ 介護等体験申込書 | 期限： | 月 | 日 |
| ☐ 介護等体験料・保険料の納入 | 期限： | 月 | 日 |
| ☐ 介護等体験日誌 | 期限： | 月 | 日 |

社会福祉施設・特別支援学校への提出物 (提出したらチェック)

- | | | | |
|---|-----|---|---|
| ☐ 自己紹介票または学生個人票 | 期限： | 月 | 日 |
| ☐ 健康診断書 (該当者のみ) | 期限： | 月 | 日 |
| ☐ 細菌検査結果 (該当者のみ) | 期限： | 月 | 日 |

2. 教育実習事務手続説明会ノート

(事務手続説明会) 日時 年 月 日() 時 分～ 場所

◎教育実習への心構え (自分で考えたことを記入)

◎教育実習を見据えた自己の課題 (自分で考えたことを記入)

◎今後の事務手続・注意事項

川越教学課への提出物・手続 (提出したらチェック)

- | | | | |
|--|-----|---|---|
| ☐ 教育実習予定校届 | 期限： | 月 | 日 |
| ☐ 実習生登録票のコピー | 期限： | 月 | 日 |
| ☐ (都内公立校のみ) 希望調書の提出 | 期限： | 月 | 日 |

各自しなければならないこと (実施したらチェック)

- | | | | |
|--|------|---|---|
| ☐ 実習校への電話 | 実施日： | 月 | 日 |
| ☐ 実習校への訪問 | 実施日： | 月 | 日 |
| ☐ (都内公立校を除く) 内諾書 (日程) の確認 | 実施日： | 月 | 日 |
| ☐ (都内公立校のみ) 受入可否の確認 | 実施日： | 月 | 日 |
| ☐ 麻疹の抗体検査 | 実施日： | 月 | 日 |

3. 教育実習直前説明会ノート

(実習直前説明会) 日時 年 月 日() 時 分～ 場所

◎教育実習の注意事項

◎教育実習当日までの事前準備と計画（自分で考えたことを記入）

◎事務連絡について

◎今後の事務手続・注意事項

川越教学課への提出物・手続（提出したらチェック）

- | | | | |
|---|------|---|---|
| ☐ 受入承諾書（教育実習期間）の確認 | 実施日： | 月 | 日 |
| ☐ 教育実習料の納入 | 期 限： | 月 | 日 |
| ☐ 誓約書の提出 | 期 限： | 月 | 日 |
| ☐ 教育実習日誌の提出 | 期 限： | 月 | 日 |

自己評価シート

中学校・高等学校用

1 2 3 4 5
学習・経験している
大い・不足している
や・不足している
できていない
十分にできている

必要な資質能力についての自己評価

必要な資質能力の指標			自己評価																							
項目	項目	指標	H18 答申との対応					1 年次				2 年次				3 年次				4 年次						
			使命感や責任感、教育的愛情	使命感や責任感、教育的愛情	使命感や責任感、教育的愛情	使命感や責任感、教育的愛情	使命感や責任感、教育的愛情	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。																								
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。																								
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。																								
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。																								
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。																								
	子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもたちの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。																								
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。																								
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。																								
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。																								
他者との連携・協力	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。																								
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。																								
	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。																								
コミュニケーション	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持つ態度で接することができますか。																								
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。																								
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。																								
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	各教科	これまで履修した各教科教育の内容について理解していますか。																								
	教科書・学習指導要領	教科書や学習指導要領の内容を理解していますか。																								
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の構成に関する基礎理論・知識を習得していますか。																								
教育実践	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。																								
	総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。																								
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。																								
教育実践	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。																								
	教材分析能力	教材を分析することができますか。																								
	授業構想力	教材研究を生かした社会科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。																								
教育実践	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。																								
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。																								
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。																								
課題探求	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。																								
	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。																								
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心をもち、自分なりに意見を持つことができますか。																								

記入にあたっての諸注意

- この教職パスポート（自己評価シート）は、教職に関する4年間の学びを振り返り、教職に必要な資質能力に関し自己評価を記入するものです。
- 授業で学ぶ内容もありますが、必ずしもそれだけすべての項目に記入できるとは限りません。介護等体験や教育実習等のほか、自主的に学校支援ボランティア等に登録してできるだけ継続的に学校現場と関わる姿勢が必要です。

【教育の基礎的理解に関する科目等】の履修状況（中学校・高等学校）

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目名	単 位	※修得 学年	担当教員名	評 価	自己評価
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論	2				
	教職概論	2				
	教育制度論	2				
	教育心理学	2				
	特別支援教育基礎論	2				
	教育課程論	2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育論	2				
	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2				
	教育方法の理論と実践 （情報通信技術を含む）	2				
	生徒指導論 （進路指導論を含む）	2				
	教育相談	2				

※科目等履修生については修得年度を記入すること。

免許法施行規則に 定める科目区分	授業科目名	単 位	※修得 学年	担当教員名	評 価	自己評価
教育実践に 関する科目	教育実習Ⅰ (事前・事後指 導を含む)	5				
	教育実習Ⅱ (事前・事後指 導を含む)	3				
	教職実践演習 (中・高)	2				

※科目等履修生については修得年度を記入すること。

【教科及び教科の指導法に関する科目】の省察記録（ 数学 ）

取得希望免許状に☑： ☐ 中学校一種数学 ☐ 高等学校一種数学

教科に関する科目の区分			左記科目区分に対する自己省察メモ ※修得科目名も記入すること
免許法施行規則 に定める科目区分	中 学 校	高 等 学 校	
代数学	☐	☐	第1年次： _____ _____ 第2年次： _____ _____ 第3年次： _____ _____ 第4年次： _____ _____
幾何学	☐	☐	第1年次： _____ _____ 第2年次： _____ _____ 第3年次： _____ _____ 第4年次： _____ _____
解析学	☐	☐	第1年次： _____ _____ 第2年次： _____ _____ 第3年次： _____ _____ 第4年次： _____ _____
「確率論、統計学」	☐	☐	第1・2年次： _____ _____ 第3・4年次： _____ _____
コンピュータ	☐	☐	第1・2年次： _____ _____ 第3・4年次： _____ _____
各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	☐	☐	第1・2年次： _____ _____ 第3・4年次： _____ _____

【教科及び教科の指導法に関する科目】の省察記録（ 理科 ） 1/2 頁

取得希望免許状に☒：☐中学校一種理科 ☐高等学校一種理科

教科に関する科目の区分			左記科目区分に対する自己省察メモ ※修得科目名も記入すること
免許法施行規則 に定める科目区分	中 学 校	高 等 学 校	
物理学	☐	☐	第1年次： 第2年次： 第3年次： 第4年次：
物理学実験（コン ピュータ活用を含 む。）	☐		第1・2年次： 第3・4年次：
化 学	☐	☐	第1年次： 第2年次： 第3年次： 第4年次：
化学実験（コン ピュータ活用を含 む。）	☐		第1・2年次： 第3・4年次：
生物学	☐	☐	第1年次： 第2年次： 第3年次： 第4年次：

【教科及び教科の指導法に関する科目】の省察記録（ 理科 ） 2/2 頁

取得希望免許状に☑：☐ 中学校一種理科 ☐ 高等学校一種理科

教科に関する科目の区分			左記科目区分に対する自己省察メモ ※修得科目名も記入すること
免許法施行規則に定める科目区分	中学校	高等学校	
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	○		第1・2年次： _____ _____ 第3・4年次： _____ _____
地 学	○	○	第1年次： _____ _____ 第2年次： _____ _____ 第3年次： _____ _____ 第4年次： _____ _____
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	○		第1・2年次： _____ _____ 第3・4年次： _____ _____
「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」		○	第1年次： _____ _____ 第2年次： _____ _____ 第3年次： _____ _____ 第4年次： _____ _____
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	○	○	第1・2年次： _____ _____ 第3・4年次： _____ _____

【教科及び教科の指導法に関する科目】の省察記録（ 情報 ）

取得希望免許状：高等学校一種情報

教科に関する科目の区分	
免許法施行規則に定める科目区分	左記科目区分に対する自己省察メモ ※修得科目名も記入すること
情報社会及び情報倫理	第1・2年次： 第3・4年次：
コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	第1・2年次： 第3・4年次：
情報システム（実習を含む。）	第1・2年次： 第3・4年次：
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	第1・2年次： 第3・4年次：
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	第1・2年次： 第3・4年次：
情報と職業	第1・2年次： 第3・4年次：
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	第1・2年次： 第3・4年次：

【教科及び教科の指導法に関する科目】の省察記録（ 工業 ）

取得希望免許状：高等学校一種工業

教科に関する科目の区分	
免許法施行規則 に定める科目区分	左記科目区分に対する自己省察メモ ※修得科目名も記入すること
工業の関係科目	第1年次：
	第2年次：
	第3年次：
	第4年次：
	職業指導
第2年次： 	
第3年次： 	
第4年次： 	
各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	第1・2年次：
	第3・4年次：

免許法施行規則に定める 科目区分	左記科目区分に対する自己省察メモ ※修得科目名も記入すること
日本国憲法	
体 育	
外国語コミュニケーション	
数理、データ活用及び人工 知能に関する科目又は情報 機器の操作	

[illegible][illegible]

A blank grid for graphing. The grid is 20 units wide and 20 units high. A horizontal line is drawn at the 400-unit mark on the vertical axis, and a vertical line is drawn at the 200-unit mark on the horizontal axis. The horizontal axis is labeled with '200' at the 200-unit mark and '400' at the 400-unit mark. The vertical axis is labeled with '200' at the 200-unit mark and '400' at the 400-unit mark.

■介護等体験の記録

介護等体験を振り返り、体験をとおして学んだことを各 300 字程度でまとめてください。

※単なる感想ではなく、自己の取り組みを評価するつもりで、体験内容や反省を具体的に書くこと。

介護等体験の免除対象者は該当するものに☒してください。

☐ 取得希望免許状が高等学校のみの学生

☐ その他 ()

特別支援学校名 ()

◎体験期間 年 月 日 ～ 年 月 日 (日間)

[illegible]

社会福祉施設名（ ）

◎体験期間 年 月 日 ～ 年 月 日 (日間)

[illegible]

※ 4 年次前期終了後に記入。これまでの学びを総括し自己の適性や課題について考える。

※ 4 年次前期終了後に記入。これまでの学びを総括し自己の適性や課題について考える。

(必ず 500 字以上記入すること)

A blank grid paper with a vertical axis on the right side. The axis has arrows pointing to the right and is labeled with values 200, 400, 500, and 600. The grid consists of 20 columns and 20 rows.

※「教職実践演習」担当教員 講評

担当教員名
印

担当教員名

担当教員名

印